

画像処理ライブラリ「Open eVision」

株式会社アド・サイエンス イメージソリューションGr.
／馬島 卓也、赤峰 みどり

ユーザが画像処理ライブラリを使用される目的として、「このワークに完全特化した画像処理アプリケーションを作成したい」、「汎用画像処理装置を利用していたが、どうしても検査したいその内容に手が届かない」、あるいは「画像処理ソフト開発にあたり画像処理のアルゴリズムまで考えるには労力および開発工期を要するためライブラリを活用したい」など様々な理由がある。またユーザが検討されるアプリケーション内容も様々であり、同じライブラリであっても案件が異なれば、検討する内容も大きく異なってくる。いかなるケースでもライブラリを選定する際、目的とする処理が実現可能であるかどうかはもちろんだが、そのほかに以下の検討事項にも注目される。

- ・このライブラリにはどのような機能があるのか？
- ・公式対応しているOSおよび開発環境は？
- ・開発工期短縮に貢献できるか？
- ・ライブラリの使いやすさは？
- ・ライセンス販売体系は？ etc・・・

本稿では画像処理ライブラリ「Open eVision (ユレシス社製)」について、ユーザが検討される上記の内容も含めて、概要と特長を紹介させていただき、参考の一助となれば幸いである。

1 Open eVisionの概要

「Open eVision」ライブラリは、ビジョンアプリケーションでの使用を目的とした強力な画像処理ツールである。Open eVisionは自動車業界をはじめとする製造業界、および半導体業界、食品業界、医療業界、監視業界、研究用途などあらゆる業界で活躍しており、各業界を縦軸と考えるのならば、eVisionは画像という横軸の切り口で、多種多様な業界で活躍している。eVisionは発売以来、欧米、アジア諸国の多くの国々で販売されており、決して閉鎖的な



Download
Develop
Deploy

リユーションではなく、ユーザのアプリケーションに統合するものとして開発設計されている。Open eVisionは常にユーザのニーズに応えるべく改良を続け、従来のアルゴリズムから特殊用途に対応した高度な手法まで、多くの画像処理技術が網羅されている。